



松坂屋の発展と交通機関

平成26年8月30日(土)→11月25日(火)

百貨店は都市型の小売業である。小売業は立地、すなわち店舗の場所が、業績を大きく左右する。立地産業といわれるゆえんである。百貨店の適切な立地は、顧客が足を運びやすい、至便な都市の中心地であることはいうまでもないが、繁華街、メインストリートは固定的なものではない。とりわけ近代以降は、交通機関の発達、交通網の動きとともに大きく変化してきた。

ここでは、松坂屋が人々の大量輸送機関である路面電車(市電)や地下鉄にどのように対応し、取り込んできたかを振り返る。



松坂屋名古屋店前を走る市電(昭和35年)

東京

●鉄道馬車

明治15(1882)年6月25日、新橋—日本橋間を東京馬車鉄道会社による鉄道馬車が走り始めた。同年10月1日、日本橋—上野—浅草—浅草橋—日本橋の環状線となり、松坂屋上野店の前も走るようになった。上野店では、この図版入りの引札(チラシ)を作成し、交通に至便であることをPRした。鉄道馬車は、明治36(1903)年に市内電車に移行するまで続いた。



上野店の前を走る鉄道馬車(明治中期)

●路面電車

松坂屋上野店の前を、鉄道馬車に代わって路面電車が走り出したのは、明治36(1903)年11月25日のことであった。路面電車は、長いあいだ市民の足として親しまれたが、自動車の増加による運行困難と経営悪化により、昭和42(1967)年から徐々に廃止され、都営バスや地下鉄に転換されていった。上野広小路を走る上野線も、昭和47(1972)年11月12日に廃止になった。



上野店の前を走る路面電車(大正中期)

●山手線

大正14(1925)年11月1日、省線(現JR)の上野—神田の高架が完成し、御徒町駅が開業した。これにより、山手線はわが国初の環状線になった。松坂屋上野店では、これを記念して「省線開通デー」を開催。店内には鉄道案内所を設けた。また、チラシを作成して沿線の人々に来店を呼びかけた。「御徒町駅より、わずかに数十歩、山の手、中央、京浜各沿線の皆様方には、一番近くて楽にいけるようになりました」



「省線開通デー」のチラシ(大正14年)

●地下鉄

東京の地下鉄は、昭和2(1927)年に上野—浅草間が開業したことに始まる。そして、昭和5(1930)年1月1日、地下鉄銀座線の上野広小路(松坂屋前)駅が開業し、改札口と松坂屋上野店の食品売場がつながった。わが国初のデパート駅の誕生であった。この駅は、当初の計画では建設予定になかったが、大衆社会を迎え、交通機関との連絡に注目した松坂屋が申請し、追加された。



上野店と上野広小路駅(昭和5年)

名古屋

●路面電車

明治31(1898)年5月6日、広小路の笹島と県庁前(久屋町)間を路面電車(定員26人)が走りだした。広小路線である。京都に遅れること3年、わが国では2番目の路面電車であった(乗車料金は1区1銭)。それから10年後の明治41(1908)年、栄町と熱田駅前を結ぶ熱田線が開通した。明治43(1910)年3月1日、この広小路線と熱田線が交差する栄町角に、デパートメントストアという呉服店が進出した。近世以来の本町通にかわる広小路時代の開幕を告げるものであった。



いとう呉服店の前を走る路面電車(大正時代)

●市営バス

名古屋市営バスの開業は、昭和5(1930)年2月1日のこと。ひとまず、1929年式シボレーの車両40台を揃え、4本のバス路線で営業を開始した(定員20名。料金は市電と同じ6銭均一)。運転キロは22.6km。この路線の中には、大正14(1925)年に南大津町(現在地)に移転した松坂屋前を走る、名古屋駅—栄町—上前津—内田橋を結ぶ路線も含まれていた。戦後、昭和20年代後半からバス事業は軌道に乗り、35年度にはバスの一日当たりの乗車人数が62万人を超え、路面電車の利用客を追い越した。



路面電車と並走する市バス(昭和初期)

●地下鉄

昭和32(1957)年11月15日、名古屋市初の地下鉄が開業した。車体は、画家・杉本健吉が選定したウィンザーイェロー。当時、車両は全部で12両しかなく、それを6両編成にして名古屋—栄町を往復した。運賃は大人15円、子供8円、通勤定期1ヵ月600円であった。工費は約27億円。国内では東京、大阪に次いで3番目、世界で23番目の開通であった。それから10年後の昭和42(1967)年3月30日、地下鉄名城線・矢場町駅が開業した。この開通にともない、同年秋、南大津通の市電が廃止された。



地下鉄矢場町駅開業(昭和42年)





松坂屋の発展と交通機関

西暦	和暦	月	日	松坂屋の動き		写真	交通の動き
1882	明治15	7		(名古屋店)	業界初の「夏物売出し」を行う		6 25 東京に鉄道馬車走る
1883	明治16	9		(創業家)	伊藤銀行、東京支店開設		7 28 上野駅、開業
1886	明治19						5 1 名古屋駅(笹島)開業
1894	明治27	7	1	(上野店)	洋式簿記を導入(業界初)		
1898	明治31	10	15	(名古屋店)	電話を新設		5 6 広小路線(笹島-県庁前)電車開通
1900	明治33			(名古屋店)	商号を「いとう」から「いとう呉服店」へ変更		
1901	明治34	11	18	(全 店)	「明治の掟書」を制定(元文の掟書を改定)		
1903	明治36	5	10	(京都店)	店舗再建		8 22 東京電車鉄道(品川-新橋)開業
1908	明治41	9		(上野店)	3階建て洋館落成		5 3 熱田線(栄町-熱田駅前)電車開通
1909	明治42	3	7	(創業家)	伊藤産業合名会社設立		
1910	明治43	3	1	(名古屋店)	新店舗落成、デパートメントストア営業開始		
1911	明治44	3	18	(名古屋店)	いとう呉服店少年音楽隊結成		
1918	大正7	5		(全 店)	制服「規定編」制定(百貨店初)		
1920	大正9	3	5	(全 店)	「信条」布達、会社創立10年記念式		
1922	大正11	11	20	(上野店)	別館新築落成		
1923	大正12	9	2	(上野店)	関東大震災で全焼		
1924	大正13	12	1	(銀座店)	新築開店。土足入場実施(百貨店初)		
1925	大正14	3	28	(銀座店)	顧客送迎自動車運行開始		
		5	1	(全 店)	商号を「松坂屋」に統一		
		5	1	(名古屋店)	栄町から南大津町に移転		
1927	昭和2	3	10	(栄町店)	10銭マーケット開設		11 1 東京山手線環状運転開始
1928	昭和3	5	1	(名古屋店)	PR誌『マツサカヤ』創刊		12 30 地下鉄銀座線開業
1929	昭和4	12	15	(上野店)	顧客送迎自動車運行開始		
1930	昭和5	1	1	(上野店)	地下鉄上野広小路駅と売場が直結(百貨店初)		2 1 名古屋市営バス運転開始
1931	昭和6			(上野店)	「お子様ランチ」登場		
1932	昭和7	11	20	(静岡店)	新築開店		
1933	昭和8	7	1	(銀座店)	制服、洋装に統一(百貨店初)		
1935	昭和10	6	1	(全 店)	PR誌『新装』創刊		
1936	昭和11	12	1	(名古屋店)	「東西名物街」(名店街)開設(百貨店初)		5 3 大阪梅田-心斎橋に地下鉄開通
1937	昭和12	3	1	(名古屋店)	全館増築完成		4 29 名鉄、押切町-新岐阜全通
1948	昭和23	7	10	(全 店)	「生活と文化を結ぶマツザカヤ」の標語を制定		2 1 国鉄名古屋駅(現在地)営業開始
1949	昭和24	6	15	(栄町店)	新築落成		
1951	昭和26	3	10	(上野店・銀座店)	PR誌『新装』復刊		
1952	昭和27	11	15	(銀座店)	増築工事落成		11 15 名古屋市営地下鉄、名古屋-栄町開通
1953	昭和28	9	19	(名古屋店)	全館改装工事完成、外壁も一新		6 15 地下鉄、栄町-池下開通
1957	昭和32	6	28	(全 店)	シンボルフラワー「カトレヤ」制定		
1960	昭和35	2	1	(全 店)	会社創立50年		
1962	昭和37	6	1	(全 店)	カトレヤ・アイキャッチャー制定		
1963	昭和38	6	27	(銀座店)	銀座パーキングビル落成		4 1 地下鉄、池下-東山公園開通
1964	昭和39	9	30	(名古屋店)	本館増築新装開店		10 15 地下鉄、栄町-市役所開通
1965	昭和40	3	29	(名古屋店)	松坂屋提供「カトレヤミュージック」(CBC)放送開始		10 13 エンゼルパーク地下駐車場、営業開始
1966	昭和41	10	12	(名古屋店)	エンゼルパーク駐車場への連絡通路完成		3 30 地下鉄、栄-金山開通
1967	昭和42	3	30	(名古屋店)	地下鉄矢場町駅松坂屋出入口通路開設、市へ寄付		4 1 地下鉄、星ヶ丘-藤が丘、名古屋-中村公園開通
1969	昭和44	6	21	(名古屋店)	東陽町配送センター新築		
1970	昭和45	1	16	(全 店)	㈱大丸と商品面での業務提携発表		2 1 市電、栄-笹島町路線廃止
1971	昭和46	4	10	(岡崎店)	新築開店		3 29 地下鉄、金山-名古屋港開通
		11	17	(名古屋店)	増改築開店		12 20 地下鉄、市役所-大曽根開通
		11	17	(名古屋店)	マツザカヤ友の会発足		
1972	昭和47	11	16	(名古屋店)	リビンザ(北館)開店		
1973	昭和48	11	14	(名古屋店)	名古屋流通センター、4・5階増築完成		
1974	昭和49	11	29	(名古屋駅店)	新築開店		



電話(052)251-1111 【営業時間】本館地下2階~3階、南館地下2階~4階、北館1階は10時~20時
 その他のフロアは10時~19時30分 ただし、本館9・10階、南館6・7・10階、北館地下1階で営業時間が異なる店舗もございます。